

地域医療連携室

# フレンドリーだより

*Community medicine cooperation room*



医療交流5年記念 メーコン市マーサー大学  
マーティン L. ダルトン医学部長 歓迎パーティー (2007.4.11)



**2007**  
vol. **23**

H19.5 発行

黒部市民病院 黒部市三日市1108-1  
E-mail : friendly@med.kurobe.toyama.jp



# 病院紹介

米田医院 院長 米田 欽一

## 感謝でいっぱい

昭和44年12月に開業して以来、黒部市民病院が近くにあるから心強く毎日の診療ができ、フレンドリーなスタッフの皆さんにオープンベッドの利用や患者さんの紹介並びに逆紹介につき開業医と病院との橋渡しをしていただき、誠にありがとうございます。非常に感謝しています。

患者さんにとって、その家族はもちろんのこと大丈夫という信頼感と安心感かと思えます。そういう意味でもっとも適切な診療を受けられる黒部市民病院へ紹介しております。

いかなる疾患でも診療し、相談してもらえる市民病院の先生方に感謝しております。開業して長くなり今後更にお世話になることが多いかと思いますが、先生方に対し何かとご迷惑をかけると思っています。よろしく願いいたします。



### 外来診療科目

内科一般

### 診療時間

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前 8:30~12:30	●	●	●	●	●	●
午後 1:30~6:00	●	●	●	△	●	●

※休診日/日曜・祝日・木曜午後

### 所在地

〒938-0031  
富山県黒部市三日市3126番地  
TEL (0765)52-0140



# 助産師外来を実施して

東病棟2階 周産期母子医療センター 病棟スタッフ  
(助産師：田中記)

黒部市民病院東病棟2階は、新川地域の周産期母子医療センターとして妊産婦や婦人、小児の看護を行っています。ここ数年、近隣の産科施設の閉鎖に伴い徐々に増えている分娩数にスタッフ一丸となって日夜奔走している現状です。しかし毎日「忙しい、忙しい」とぼやいてばかりでは、女がすたります。忙しさの中でもやりがいを求め、妊娠から産後の母子、家族に対し、医師と助産師が役割分担、連携しながら継続的に関わることにより、妊娠、分娩、育児をサポートしていきたいとの思いから、平成18年4月より助産師外来が開設となりました。助産師外来の目的として①妊娠14週、34週の妊婦に対して妊婦健診および妊娠各期に応じた適切な保健指導を行い、スムーズな出産援助につなげる。②妊産婦の診察を行い、妊娠、出産、産褥期の継続看護を行う。を挙げ、1人30分枠の完全予約制です。妊婦さんや家族の方とゆっくり話をし、不安の把握に努め、問題解決をはかれるよう心がけています。助産師外来を開設する前は、妊婦さんとは分娩の入院期間中（5日間程度）だけの関わりで寂しく感じることもありましたが、外来で話をする事で、いくらかつながり became deeper and more meaningful. In fact, compared to the pregnant women who visited the clinic, we heard that "it was easy to talk", "the waiting time was short", "the midwife who was involved in the clinic was able to relax in the clinic", and so on. The opening of the midwife clinic is a very meaningful thing for the patients and the midwives. At the beginning of the opening, it was only 2 or 3 consultations per day, but it has gradually increased and now we have a system where all the scheduled deliveries can be consulted. Now, the midwife clinic is a reservation system. Pregnant women, staff, and midwives are all satisfied with the clinic. However, the midwife clinic is only held twice a week (Wednesday and Friday) due to a shortage of staff. In the future, we want to increase the number of clinic days and provide support for the delivery and the subsequent childcare.



最後に、分娩後のアンケートの中にこんな意見を書いてくださった方がおられたので紹介します。「入院中に関わる助産師さんと産む前から顔見知りでしたので安心感がありました。30分の助産師外来は、今回私にとって素晴らしい助産師さんとの出会いであり、入院中の不安を軽くするもので本当に良かったです。ここで出産できたことを主人と喜んでます。」こんな素晴らしい意見を聞くと助産師外来の意義を感じ、なお一層努力していきたいと思えます。



# 診療科紹介

## 血管外科外来



浦山博主任部長と外来スタッフ

血管外科外来は外来棟の2階で、呼吸器外科と並んであります。

診療は9時から12時まで、月曜から金曜まで毎日しています。月曜と金曜は手術があると11時で終わります。金曜の午後はフットケア外来をしています。

担当は浦山博です。昭和53年金沢大学医学部卒で金沢大学附属病院旧第一外科（今は心肺・総合外科）に入局し、平成13年から黒部市民病院に勤めています。外科学会指導医、胸部外科学会指導医、心臓血管外科専門医です。

### ●どんな症状の人が来るのですか？

1. **足や手が痛む**：上肢や下肢の動脈がつまってくると、手足が痛みます。じっとしていても痛むこともあります。歩くと痛くなって歩けなくなる（間欠性跛行といいます）こともあります。
2. **足や手の色が変わる**：白くなったり、紫色になったりするのは循環障害によることが多いです。寒い所で手足の先が白くなるのはレイノー現象といって膠原病の初期症状として出現することがあります。
3. **手足にきずができてなかなか治らない**：足の難治性潰瘍の原因としては糖尿病が多いのですが、動脈や静脈の疾患で治らない潰瘍を生じることがあります。
4. **足がむくむ**：むくみの原因は全身疾患による場合と局所の疾患による場合があります。静脈やリンパの流れが悪くなるとむくみの原因になります。静脈血栓症の場合は肺塞栓症を併発し、突然死をきたすことがあり、注意が必要です。
5. **足がしびれる**：しびれの原因の多くは神経によります。足の動脈がつまってしびれをきたすことがあり、鑑別が重要です。
6. **足の静脈がみみずばれになっている**：下肢静脈瘤と思われれます。妊娠出産、立ち仕事などが誘引となり、遺伝的傾向もあります。慢性のものですが、美容的問題だけでなく、疼痛や停留性皮膚炎をきたしたりします。
7. **胸、お腹、背中が痛む**：動脈の疾患が原因のことがあります。大動脈瘤、大動脈解離、腸間膜動脈閉塞などです。放置していると死に至る重篤な病態のことが多く、注意が必要です。



8. 透析をしているひと：シャントトラブル（閉塞、感染、静脈高血圧、末梢の虚血など）で受診します。足の感染、壊死もきたしやすく、フットケアの対象です。

### ●どんな診療をしているのですか？

1. 下肢の動脈閉塞では足関節圧／上肢血圧、脈派伝達速度の測定を行い、閉塞の程度と動脈硬化度を評価します。運動療法、抗血小板療法などを行い、改善しない場合はMRAにて評価し、血管内治療（ステント挿入など）を考慮します。バイパス手術が必要な場合もあります。急性閉塞では経カテーテル的血栓溶解療法や血栓除去術を行います。
2. 下肢の静脈血栓症ではエコーにて評価し、必要なら、Dダイマー測定、RI静脈造影、肺血流スキャンを行います。診断が確定次第へパリン静注し、抗凝固療法を行います。必要場合は線溶療法、下大静脈フィルター挿入を行います。
3. 腹部大動脈瘤はエコーにて経過観察を行い、一般には5 cmを越えたら瘤切除、人工血管移植術を行います。急性大動脈解離では解離が上行大動脈にあれば緊急手術のできる施設へ搬送します。下行大動脈の解離であれば集中治療室管理にて降圧療法を行います。
4. 下肢静脈瘤は症状がなければ、経過観察か弾性ストッキングなどによる圧迫療法を行います。瘤が中程度以上で症状があれば、局所麻酔による結紮・切除術を外来で行うか、抜去切除術を全身麻酔にて行います。リンパ浮腫には圧迫療法、リハビリでのマッサージ、などを行います。
5. 膠原病に伴う血管炎にはスクリーニング検査を行い、抗血小板療法を行います。必要があれば各種抗体検査などを行い、希望があれば金沢大学附属病院の膠原病科へ紹介します。適応があればステロイド等を使います。
6. 内シャント手術を行う前に必要があれば上肢の動脈、皮静脈の形態と血流をエコーにて検査します。静脈は1 mm以上必要です。適当な皮静脈が無い場合は症例に応じて上腕静脈の表在化、人工血管、大伏在静脈の使用、などを行います。
7. 糖尿病などの難治性足潰瘍壊死に対してデブリドマン、PGE1動注、高気圧酸素療法、などを行います。感染対策、適した局所処置、リハビリテーション、などを行います。

### ●フットケア外来ではなにをするのですか？

糖尿病、血管疾患の増加に伴って足の障害をきたす人が多くなっています。悪化すると下肢切断に至る場合もあり、軽い障害からのケアや予防が重要です。内科、血管外科、整形外科、皮膚科、理学療法士、看護師、など多方面からのアプローチが必要でチーム医療としてのフットケア外来を行っています。診療の内容は、フットケアのアセスメント（評価）、炭酸浴、爪きりの指導、靴の指導、乾燥肌、うおのめ、たこ、巻き爪の治療、弾性ストッキング着用、弾性包帯着用、などです。必要があれば皮膚科、形成外科、リハビリ科などを受診します。



# トピックス

## 気管内カニューレ挿入中の患者管理についての講習会



医療安全対策委員会人工呼吸器対策部では昨年看護師全員に施行したアンケートから「気管内カニューレ装着患者の管理について」のマニュアルを製作しました。そこで全看護師を対象に2007年4月20日・25日・5月2日の3回、講習会を開催しました。

### 《一部の内容を抜粋》

- 気管カニューレから、空気が漏れない程度のカフ圧にする。(カフ圧計がある場合は、25~27cmH2Oにする)

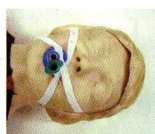


- 固定バンドの締める強さは、首と固定バンドの間に指が1本入る程度にする。



- 適切な固定をする。

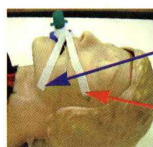
シルキテックスでの固定方法



経口

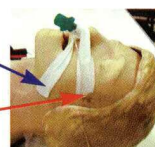


経鼻



下顎骨まで

頬骨まで



病室で気管内カニューレが抜けた場合の対処法について説明がされました。

## 医師の異動のお知らせ

科	転出	→	転入	科	転出	→	転入
内科	大幸 英喜	→	富田 学	産婦人科	増員	→	日高 隆雄
小児科	中林 玄一	→	渡辺 綾佳	産婦人科	橋本 佳子	→	稲田貢三子
小児科	影山 隆司	→	吉本 智実	皮膚科	森田 礼時	→	大石 直人
小児科	堀川慎二郎	→	減員	泌尿器科	小泉 久志	→	釣谷 晋二
リハビリテーション	増員	→	吉野 修	泌尿器科	増員	→	野崎 哲夫
整形外科	寺井 智也	→	後東 知宏	形成外科	増員	→	小室 明人
麻酔科	岩重 涉	→	減員	放射線科	橋本 成弘	→	減員

## 講演・勉強会のご案内

### 1. 新川胸部疾患検討会

日時：毎月第2木曜日

午後6：30～午後8：00

場所：本館3階 指導室

### 2. オープンベッドカンファレンス

日時：偶数月の第2水曜日

午後6：45～午後7：45

場所：本館3階 指導室

### 3. 内科カンファレンス

日時：毎週火曜日

午後6：40～

場所：本館3階 指導室